

青梅市の公の施設指定管理者評価シート 令和 元 年度実施分

施設名	第二学童保育所以下6か所		
指定管理者名	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在席する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないものの健全な育成を図るため		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・月次報告書	S	台風時の保護者への連絡や、地域で事件発生時の保育場所移動等の対応等迅速に安全に向けた対応ができた。コロナウイルス対策による臨時開所も、各クラス正規指導員を二名配置されていることにより、平常通りの人員配置を行うことができた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	B	定められた期限内に報告されている。一部の報告が遅れがあった。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・現地調査・危機管理マニュアル	S	台風時の保護者への連絡や、地域で事件発生時の保育場所移動等の対応等迅速に安全に向けた対応ができた。コロナウイルス対策による臨時開所も、各クラス正規指導員を二名配置されていることにより、平常通りの人員配置を行うことができた。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な作成および保管に努めた。	A	業務記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	S	青梅市社会福祉協議会の緊急時体制に基づいた体制がなされ、地域での事件発生時の緊急対応等に生かされた。	A	危機管理マニュアルや関係機関連絡先一覧などを作成し体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	S	マニュアルの読み合わせ、避難訓練の実施を適宜行った。	S	学校と連携した対応に努めるとともに、独自にマニュアル確認などを行っている。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書	A	適正な管理に努めた。	B	建物や施設の管理を行い、必要な修繕等の対応を行っている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書	S	災害、事件、感染症対策など通常の運営外の対応が求められた中、即時対応、人員配置など児童・保護者ともに安心感をより提供できた。	A	事業計画に基づき、適切に事業が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用児童の保育の状況は適切であるか など	事業報告書・月次報告書	A	事業計画に沿った利用状況であった。	A	事業計画に沿って適切に利用児童の保育が実施されている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	利用者満足度報告	A	適切に実施した。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	利用者満足度報告	A	満足度は得られている。	A	利用者アンケートを実施し、一定の満足度が得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	現地調査・ヒアリング	A	適切に実施した。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書・ヒアリング	S	安全性の維持・強化により、児童・保護者ともに安心感をより提供できた。市、小学校など関係機関とも、現地の正規指導員により状況に応じて適切に連携を行うことができた。	A	市と連携し、児童・保護者へ安全・安心を提供した。学校等の関係機関と情報共有を行い、適切に連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書・ヒアリング	A	適切に実施した。	A	適切に実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	学童保育事業を含めた社会福祉法人として監査等を実施している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適切に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	令和元年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	令和元年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A	事業活動による収入が支出を上回っている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	令和元年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A	法人として適切に運営されている。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	令和元年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	6
A	15
B	0
C	0

記入欄

令和元年度については、災害、事件、感染症対策など、通常の体制とは異なる状況下での運営にあたる事態が多くあったが、こうした状況においてこそ、当協議会が長年の学童保育の運営により培ってきた、安全な学童保育を提供し続けるという力を発揮できたと考えている。

- ・人員配置については、情勢の変化の中においても正規指導員を主体に適正な配置を行い続けたとともに、研修会実施により保育の質の向上に努めた。
- ・行事の実施や、季節感を取り入れた制作、夕やけランドとの連携による行事实施・参加など、子ども達が楽しめるよう学童保育所運営に取り組んだ。
- ・毎年実施しているアンケート結果をふまえ、改善に向けて対応に努めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼関係づくりに努めた。
- ・小破修繕については、迅速に適宜対応した。
- ・清掃については毎日指導員により実施した。新型コロナウイルス感染症対策についても、薬剤等を使用し更に衛生管理に努めた。
- ・地震、火災、不審者の侵入、災害など、各クラスにおいて状況を想定した避難訓練を実施した。また、学校主催の引き渡し訓練等にも積極的に参加した。
- ・正規指導員により、学校の先生と情報交換をより密に行い、学校と連携した学童保育所の運営を行った。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	2
A	17
B	2
C	0

記入欄

指定管理者として長年学童保育事業の運営を担ってきた経験や知識を活かして、安全・安心な学童保育事業を展開している。

- ・人員配置については、適切な配置を行い学校の休業期間に伴う午前中からの臨時開所においても柔軟な人員体制を構築し、適切に対応した。
- ・各種季節に応じた行事の実施や制作作業など、児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。
- ・学校や夕やけランドと定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。